かみさまといっしょに

～　絵本と、わらべうたの時間　～

2014年 12月17日（水）

☆かみさまのおはなし（12月のお話）

いよいよクリスマスが近づいてきました。宗教に関係なく、すっかり日本に定着してしまったクリスマスです。カトリック系の幼稚園では、この時季、降誕劇（ページェント）が行われ、小さい子どもたちも、一つの物語として体験していきます。

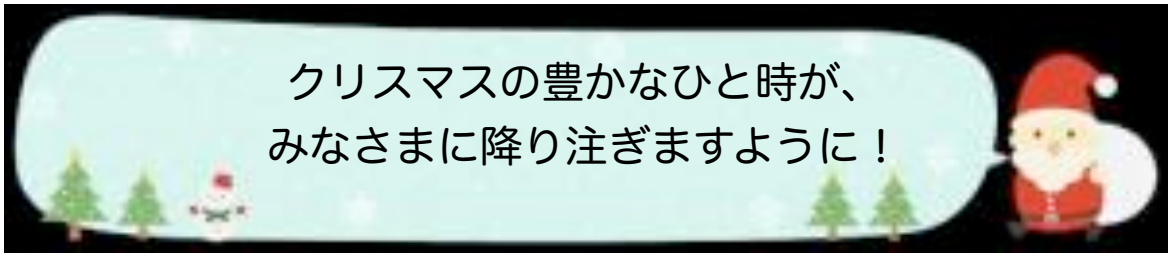
アドベントカレンダーも、様々な輸入ものが、手に入るようになり、窓を開けるたびにお菓子が出てくるしかけもあって、子どもたちの人気です。もともとは、クリスマス前の24日間（待降節）を数えるために、ドイツでは、ドアにチョークで印をつけていたそうで、それが、こうした様々なアドベントカレンダーに変化していったようです。アドベントというのは、Adventusというラテン語「到来」を意味し、「キリストの到来」ということになるでしょうか。24日間の待降節を4つの期間（第1主日～第4主日）に区切り、その主日ごとにろうそくを1本ずつ灯しては増やしていき、4本めのろうそくが灯った時がクリスマスということになります。

クリスマスそのものも勿論ですが、「キリストの降誕を待つ」、子どもたちは「サンタさんを待つ」「プレゼントを待つ」 というクリスマスを迎えるまでのこうした準備期間が、何よりも心躍るものがあります。

日々の生活の中でも、色々な「待つ」がありますが、クリスマスのように、決してワクワクするものばかりでなく、お友だちが待ち合わせの時間に来ない、そして出かけたいのに子どもがぐずぐずしている、という「忍耐の待つ」も多々ありますね。

その中で一番、素敵な「待つ」は、なんと言っても「子どもの成長」ではないでしょうか？　こればかりは、時間にまかせるしかありません。同じ年齢のお子さんが、自分の子どもより、早い成長をしていると、ついつい焦ってしまうこともあるでしょう。でも、その成長のテンポも、そのお子さんの素敵な面だと思います。ゆっくり「待って」あげて下さい。

あと僅かになったクリスマスまでの待ち時間を、ご家族で静かにお過ごしください。



☆絵本と紙芝居の紹介

クリスマスおめでとう・かみさまからのおくりもの
（こぐま社）作・絵：ひぐちみちこ

さんかくサンタ（絵本館）作・絵：ツペラツペラ

クリスマスにはおくりもの（絵本館）作・絵：五味太郎

クリスマスのふしぎなはこ（福音館書店）作：長谷川摂子／絵：斉藤俊行

ぐりとぐらのおきゃくさま（福音館書店）作：中川李枝子／絵：山脇百合子

ちいさなもみのき（福音館書店）作・絵：マーガレット・ワイズ・ブラウン

サンタクロースとあったよる（BL出版）作：クレメント・C・ムーア：絵：ホリー・ホビー

まどから おくりもの（偕成社）作・絵：五味太郎

くまのクリスマス（小学館）作・絵：高橋和枝

もちづきくん（ひさかたチャイルド）作：中川ひろたか／絵：長野ヒデ子

よいしょよいしょ～紙芝居～（童心社）作・絵：まついのりこ

☆絵本とわらべうたのこと

「絵本とわらべうたの時間」のクリスマスも、２回目となりました。
春先から、新しいお友だちも増えて、とっても賑やかになりました。
大きな声で歌ってくれたり、絵本を見てくれたりする子、お母さんから離れなかった子どもたちが、いつの間にか、紙芝居や絵本の前で、立っていたり、充実した時間になりました。
そうした子どもたちの成長に、私たちも寄り添うことができて幸せです。
ありがとうございました。
来年も、ご一緒に、たくさんの絵本に出会い、たくさんの歌を歌いたいですね。
年末年始は何かとお忙しいと思いますので、体調崩しませんよう、新しき佳き年をお迎え下さい。
次回の「絵本とわらべうたの時間」は、2016年1月20日（第3水曜日）です。

お正月

もういくつねると　お正月
お正月には　たこあげて
こまをまわして　遊びましょう
早くこいこい　お正月
もういくつねると　お正月
お正月には　まりついて
おいばねついて　遊びましょう
早くこいこい　お正月

クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０